

【詰め襟を着用する場合】

冬服	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標準服で黒の上（詰め襟）・下を着用する。 ○ 中着として、フードのついた服は不可。 ○ ボタンは指定のボタンとし、上からきちんと留める。 ○ 中着として着るものは白・黒・紺・グレー・ベージュ・茶色とし、下や袖、カラーから出さないようにする。
夏服	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標準服またはそれに準じる白の半袖か長袖のカッターシャツ、開襟シャツ、ポロシャツとする。（ポロシャツは白無地でワンポイントなし） ○ シャツを出さないようにし、ボタンは2つ目から下は留める。 ○ 中着でTシャツ着用の場合、白・黒・グレー・ベージュ色でワンポイントまでとする。バックプリントや色柄ものは不可。

【セーラー服を着用する場合】

冬服	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標準服で上下紺のセーラー服を着用する。 ○ 袖口のボタンをきちんと留める。 ○ 中着として着るものは白・黒・紺・グレー・ベージュ・茶色とし、下や袖からはでないようにする。襟元からはできるだけ出さないようにする。 ○ スカート丈は、ひざの下端までが隠れるくらいにする。 ○ 白帯を極端に小さく結ぶことも不可。10cmを目安とする。 ○ 防寒着のカーディガンは、黒・紺の無地を原則とする。着用は、冬服の上に着る。左胸には夏用名札をつける。
夏服	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上着は標準服指定またはそれに準じる白の半袖か長袖のカッターシャツ、開襟シャツ、ポロシャツとする。（ポロシャツは白無地でワンポイントなし）白のブラウスも可。紺のジャンパースカートを着用する。 ○ ボタンは2つ目からは留める。 ○ 中着でTシャツ着用の場合、白・黒・グレー・ベージュ色でワンポイントまでとする。バックプリントや色柄ものは不可。 ○ スカート丈は、ひざの下端までが隠れるくらいにする。

【スタンダードタイプを着用する場合】

冬服	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬服の着こなしの基準は現行の標準服に準じるものとする。 ○ 冬の現行標準服とスタンダードタイプを交差させて着ることは不可。 ○ ジャケットの下の防寒着は黒・紺の無地のカーディガン、セーター、ベストを可とする。 ○ 防寒着の丈についてはジャケットの下から出ないようにする。 ○ 体温調節のためにジャケットを脱いでポロシャツになる場合はポロシャツに名札をつける。 ○ ジャケットを着ずに、防寒着着用のまま行動することは不可とする。 ○ スカート丈は、ひざの下端までが隠れるくらいにする。 ○ 中着でTシャツ着用の場合は白・黒・グレー・ベージュ色でワンポイントまでとする。バックプリントや色柄ものは不可。
夏服	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏服の着こなしの基準は現行の標準服に準じるものとする。 ○ 夏服においては現行の夏服と交差して着ることは可とする。（スタンダードタイプのスラックスにカッターシャツなど） ○ 夏服のポロシャツ、カッターシャツ、開襟シャツはズボンの中に入れる。 ○ ポロシャツのボタンは第一ボタンまではずしてよいものとする。（開襟シャツを除く） ○ スカート丈は、ひざの下端までが隠れるくらいにする。 ○ 中着でTシャツ着用の場合は白・黒・グレー・ベージュ色でワンポイントまでとする。バックプリントや色柄ものは不可。

【共通事項】

<p>頭 髪</p>	<p>○ <u>清潔感があり、周囲の人に嫌悪感を与えない自然な髪形であれば可。</u> (染色、脱色、パーマ、整髪料等は不可)</p> <p>○ 前髪は目にかからないようにし、髪が肩まで伸びたら黒・紺・茶のゴムひもで結ぶ。(耳やこめかみのラインより高い位置で結ばないようにする。)</p> <p>○ 髪の結び方は、1つ結び・2つ結び・-halfアップ・お団子・三つ編みを可とし、頭の真ん中の位置で結ぶ。 ※お団子と三つ編み等の組み合わせは不可。</p> <p>○ 前髪や横髪を垂らさない。長い場合は、黒・紺・茶のピンで留める。</p> <p>○ 整髪料は使用しない。</p>
<p>眉 毛</p>	<p>○ 眉毛を薄くしたり、細くしたり、形を変えたりしない。</p>
<p>名 札</p>	<p>○ 冬服は、本校規定の名札を左胸に縫いつける。夏服は、名札をカバーに入れ、左胸に安全ピンでとめる。</p> <p>○ 名札は2カ所の穴に安全ピンを通し留める。</p> <p>○ 名札を改良しない。中にシールをつけたりなどしない。</p> <p>○ 忘れた場合は、生徒指導用のものをつけさせるようにし、必ず付けさせる。</p> <p>○ セーラー服にカーディガンを着用する際は、夏服用の名札を左胸に安全ピンでとめる。</p>
<p>防寒着・ 防寒具 (原則： 11月～ 3月)</p>	<p>○ 登校時の防寒着として、華美・高価ではなく、丈は上半身程度のものを認める。ベンチコートは不可とする。着脱は廊下等で行い、教室ではカバンの中に入れる。</p> <p>○ マフラー(ネックウオーマーは可)・手袋は登下校時のみとする。</p> <p>○ ニット帽と耳当ては不可。</p> <p>○ 黒タイツの着用を認める。</p>
<p>カバン</p>	<p>○ 学校指定のスリーウェイバッグ(引野バッグ)を使用し、補助として指定サブバッグや他のバッグを認める。ただし、学年行事等指示が出れば、サブバッグのみの登校も可。</p> <p>○ 華美・高価でなく拳大の大きさであればストラップを1つ可。 (御守りも含む。)</p> <p>○ バッグには落書き等はしない。</p>
<p>上履き</p>	<p>○ 学年別に指定された上履きをはき、校舎内と校舎周辺のコンクリート部分以外は使用しない。</p> <p>○ 氏名を記入し、かかとを踏んだり、落書きをしたりしない。</p>
<p>ベルト</p>	<p>○ ベルトは黒・紺・茶とする。セーラー服のベルトは付属のものを使用する。</p> <p>○ 腰パンなどルーズなはき方をしない。</p> <p>○ ベルトは単色で、バックルやベルト穴等に過度に金属装飾のついたものは不可。</p>
<p>靴 下</p>	<p>○ 色は白と黒は可(ワンポイントまで可) ※ワンポイントとは足首の2つ程度。</p> <p>○ ラインは単色で白・黒・紺は可。</p> <p>○ ルーズソックスは不可。</p> <p>○ くるぶしが完全に隠れるものとする。</p>
<p>靴</p>	<p>○ 体育の授業に使える運動靴とする。(マジックテープ可・ハイカットは禁止)</p>
<p>携行品</p>	<p>○ 学習に必要なでない物は持ってこない。(携帯電話・スマートフォン、お菓子、多額の現金など)</p> <p>○ 携帯電話・スマートフォンは原則不可。</p> <p>○ ピアスや指輪、ブレスレット、ミサंगाやカラーバンド、ネックレス(健康用を含む)など装飾品も同様に原則不可。</p> <p>○ ゲーム機、カード類、マンガ・雑誌なども同様に原則不可。</p>
<p>その他</p>	<p>○ アイプチや色付きリップは不可。</p> <p>○ 制汗剤についてはスプレー、液体のものは不可。</p> <p>○ 汗拭きシートは無香料であれば可とする。</p> <p>○ 日焼け止め、ハンドクリーム、リップについては無香料のものとする。</p> <p>○ ピアスの穴はあけない。</p>

